

香川県におけるイヌノシタの年齢と成長

【はじめに】香川県で「アカゲタ」と呼ばれているウシノシタ類のイヌノシタは播磨灘やひうちなだ燧灘などの泥底で棲み、小型底びき網や刺網で漁獲されています（写真 1）。漁獲量が多く、重要な魚種ですが、寿命や成長に関してはあまり調べられていませんでした。今回は魚の頭にある耳石じせきと呼ばれる硬組織を用いて、イヌノシタの成長を明らかにした結果を紹介します。



写真 1 イヌノシタ

【方法】香川県の播磨灘海域で漁獲されたイヌノシタの全長と体重を測定し、生殖腺の観察で雌雄を確認した後、耳石を取り出しました。この耳石をポリエステル樹脂ほうまいで包埋し、厚さ約 0.3 mm の横断切片を作成しました。そして、光学顕微鏡でチェック構造と呼ばれる明瞭なリングを数えました（写真 2）。

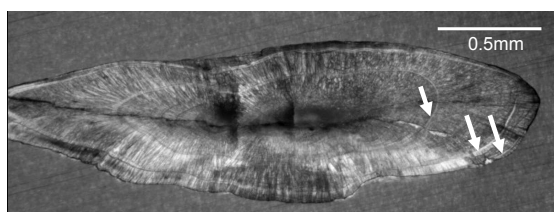


写真 2 耳石切片のチェック構造 (白矢印)

【結果】耳石の観察によって、チェック構造が 7~8 月を中心に年 1 本形成されることを確認しました。チェック構造の数 (=年齢) から、雌と雄の最高年齢がそれぞれ 11 歳と 7 歳が分かりました。雌雄の成長式から、2 歳まで急速に成長し、4 歳以上になると雌の方が大きくなることが示されました（図 1）。漁獲物の年齢組成をみると、1~3 歳が全体の約 90%を占めていました。

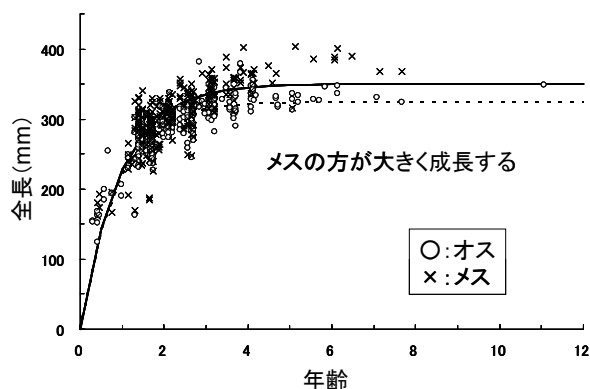


図 1 イヌノシタの成長

表 1 イヌノシタの年齢ごとの全長と体重

年齢	全長(mm)		体重(g)	
	雄	雌	雄	雌
1	224	228	61	65
2	294	308	155	182
3	316	336	198	245
4	323	346	213	271
5	325	349	218	280

【参考文献】

Katayama S. and M. Yamamoto (2012) Age, growth and stock status of Robust tongue sole *Cynoglossus robustus* Günther, 1873 in Japan determined by a new otolith observation technique. Asian Fisheries Science 25: 206 - 217.

(文責 主任研究員 山本昌幸)